

第 16 回 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の現状と対策 (3 月 11 日水曜日)

こんにちは。

長崎大学人、河野茂です。

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を奮っています。

なぜこのような感染症が出現したのか、我々はどうのように立ち向かうべきなのか、プラネタリーヘルスを考えていく上で重要な問題が我々に投げかけられています。

以下、泉川教授との対談内容を要約しています。

そのためデータが最新情報よりやや古いことはお許し下さい。

新型コロナウイルス感染症は 2019 年 12 月に中国で初めて確認され、中国国内で感染拡大が起こった後、2 月以降急速に世界中に感染が拡大、既に中国外の 88 カ国で感染者が確認されています。

世界保健機構 (WHO) のレポートでは、3 月 6 日時点の感染者数は、世界で 98192 人、中国が 80711 人、中国外が 17481 人、日本国内はダイヤモンド・プリンセスを除くと 349 人となっています。

中国外では韓国が 6284 人、イタリアが 3858 人、イランが 3513 人と特に多いですが、ドイツやフランスでも数百人規模で患者数が増加しています。新型コロナウイルス感染症の 1 人が感染させる人数 (再生産係数) は 2.0-2.5 と計算されており、今後も感染拡大が続くものと思われます。

日本国内でも 1 日平均 20 人程度の患者数増加が起こっておりますが、さらに増加速度が上昇する可能性もあります。

死亡者数は、中国が 3045 人 (3.8%)、中国外が 335 人 (1.9%)、

ダイヤモンド・プリンセスを除く日本国内では 6 人 (1.7%) となっています。

インフルエンザの死亡率は一般的に 0.1% 以下なので、インフルエンザと比べると新型コロナウイルス感染症は高い死亡率です。

高齢者や持病を持つ方はさらに高い死亡率になるため、社会全体でお亡くなりになる方を少しでも少なくするために、長崎大学は率先して行動しなければなりません。

皆さんも自分や家族が新型コロナウイルス感染症にならないか不安な日々を過ごしていると思います。

感染を防ぐためには闇雲に恐れるのではなく、その感染様式を理解して適切な対処法を行う必要があります。このウイルスは飛沫感染と接触感染によって感染していきます。自分の体調が悪い時は飛沫を口から飛ばさないようにマスクを着用し、マスクがなければ肘で口元を抑えてください（咳エチケット）。接触感染は自分の手に付着したウイルスが口から入ることで感染するので、自分の行動や場所が代わるタイミングで手洗いや手指消毒を行ってください。

新型コロナウイルス感染症は風邪の症状と区別がつかないので、自分が風邪っぽい場合は人が集まる場所には行かないことが重要です。

長崎大学の職員は、毎日出勤前に体温を測定し、37.5度以上ある場合には出勤しない決まりとしています。発熱が4日以上持続する場合は、大学病院外の職員は保健・医療推進センターに、大学病院の職員は感染制御教育センターに相談してください。

今回は、新型コロナウイルス感染症に対して長崎大学が行ってきた活動を紹介します。